

2008年1月18日

受益者の皆様へ

安田投信投資顧問株式会社

「チャイナ・ディスカバリー・ファンド」(愛称:神龍)の基準価額変動について

平素は格別のご高配を賜りありがとうございます。

さて、1月17日の基準価額が前日比5%を超える値下がりとなりましたので、その状況のご報告と、本ファンドの運用委託先である国泰君安アセット(アジア)の見解をご紹介致します。

<ファンドの騰落率>

ファンド名	基準価額(円)		前日比(円)	騰落率(%)
	1月16日	1月17日		
チャイナ・ディスカバリー・ファンド (愛称:神龍)	14,522	13,589	-933	-6.42%

<関連主要株価指数の騰落率。現地株価は1月15日と1月16日の比較。>

関連主要株価指数	騰落率(%) (香港ドルベース)
香港ハンセン指数	-5.37%
ハンセン中国企業株指数(H株)	-6.56%
ハンセン中国レッドチップ指数	-5.63%

香港株式市場は、サブプライム問題を端緒とする金融不安と米国景気後退懸念が強まり、香港ハンセン指数・H株指数・レッドチップ指数は10日より5日間連続の下落となりました。とりわけ、15日の米国市場の急落、米シティグループのサブプライム関連の巨額損失計上や12月の米小売売上高の悪化等悪材料が重なったことを受けて、16日の香港株式市場は大きく下落しました。

なお、17日の香港株式市場は大型株を中心に反発し、香港ハンセン指数は前日比+2.72%、H株指数同+3.32%、レッドチップ指数同+2.37%と上昇して引けております。(いずれも香港ドルベース)

当ファンドの運用委託先の国泰君安アセット(アジア)からは、「サブプライム問題の拡大懸念やメルリリンチが第4四半期に150億ドルの損失を計上するとの思惑から米国金融株は急落し、また米国内のクレジットカード保有者の債務不履行件数増加より米国株式市場は大きく下落しました。その影響を受けて香港株式市場も不安定な動きを示しています。

*当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。*当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補充書面を含む。)をお渡しますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。*当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。

ただし、香港市場の株価は米国経済よりも中国マクロ経済の影響を強く反映すると見ており、特に金融株についてはその傾向が強いと思っております。堅調な業績が期待される決算発表が始まれば、香港株式市場は反発するとの見方を強めています。これまでと同様に、通信セクター、新規公開銘柄に注視していく方針です。」とのコメントを得ております。

以 上

*当資料に記載されているコメント、投資環境見直しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。*当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む。）をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。*当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。